



校外に出かけて学ぼう！

2学期始業式の日、全員が笑顔で元気に登校できました。各家庭、わかたけ子ども教室での見守りのもと、子どもたちが安全に夏休みを過ごせて何よりでした。

9月1日は防災の日でもあるので、寺田寅彦氏の「天災は忘れた頃にやってくる」という名言を引用し、日々油断をせず安全に元気に過ごしましょうということを伝えました。その日のシェイクアウト訓練では、子どもたちは真剣に身を守る行動を取ることができていました。



9月第1週目は水辺の楽校とオーテピアでの理科学習を予定していましたが、台風の影響で大雨警報が出る可能性があるということで延期としました。翌週も山の学習の一環（山、川、里、海のつながり）として計画していた柏島でのシュノーケリング体験や四万十川でのカヌー体験を延期としました。自然は時に脅威となりますが、天候を見計らって校外自然体験学習をぜひ実施したいと考えています。

夏休み環境絵日記より【絵】



9 2026
月号

発行：2026/9/14
文責 北代



6年 こうた【久しぶりの川遊び】



6年 こうしろう【クラゲ祭り】



6年 みおり【川を大切に】

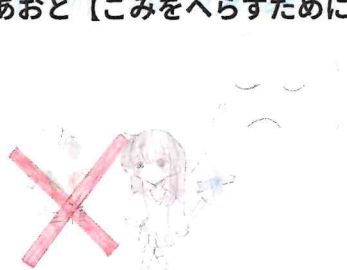


ぼくは、おきの島に行きました。
そこですごした中ですごかったことが一つありました。・・・中略・・・
ベランダに出て行ったら夕日があつてとてもきれいでした。（ぜっけいだな） と思いました。海がオレンジ色にかがやいていました。

4年やまと【沖ノ島に行ったよ】



5年 あおと【ごみをへらすために】



5年 りりあ【食品ロスをへらす】



4年 そら【川に行った】

整えられた校庭！

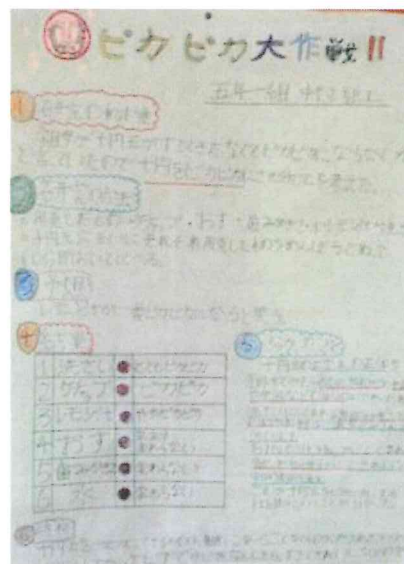
「利岡の校庭はすごいきれいやね！」と学校の前を通った他校の先生がおっしゃってくださいました。地域協働本部事業でサポーターとなってくれている渡辺さんが子どもたちの夏休み中、暑い中、整備を積極的に行ってくださいました。おかげで気持ちよく2学期を迎えられました。そろそろ陸上の練習も本格的に始まります。自分たちのグラウンドという意識を高めるためにも練習でじゃまになる石拾いなどは子どもたちにも積極的に行ってもらいます。みなさんに支えられ感謝感謝です！

ぼくは川に行きました。魚がいたのでつかまえようとするのにげるので。（速い！）と思いました。・・・中略・・・歩いて1分くらいのところですよ。あみだと魚をつかまえられかなと思っていたらつかまえられてうれしなと思いました。また、川に行きたいです。

全員が自由研究にも取り組みました！

夏休みの宿題！と思うと苦痛になりますが、日頃から自分が興味関心のあることや疑問に思っていることなどを時間をかけて観察したり、実験してみたり、本などで調べたりして追求していくことは楽しい時間ですね。

高学年の教室をのぞくと、ちょうど一人ひとりが自分の研究について発表をしていました。仲間からの質問や感想を聞いて、もっと工夫すればよかったと思った点や他にも調べてみたいことなど次への探求の意欲に繋がっていればいいなと思ったことでした。



9月のわかたけお話会の様子



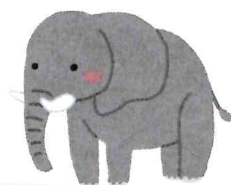
年長・年中組さんは西川さんに「だごだごころころ」を読んでもらいました。5人とも楽しそうにお話を聞いていました。

読み聞かせが終わると園長先生やゆういち先生と学校ごっこをしました。言葉のお勉強に楽しく取り組んでいました。



4, 5年生は中山さんに「おこりじぞう」を。6年生は松岡さんに「かわいそうなぞう」を読んでもらいました。松岡さんは、毎年9月は平和について考える絵本を選んで読み聞かせてくださっているそうです。

子どもたちは「戦争」は罪のない子どもや動物の命までも奪う、つらく悲しいもの！ぜったいに起こしてはいけないことだという感想を持てました。



October

10月の主な行事予定

- 10/7 (水) わかたけお話会
- 10/9 (金) 陸上記録会 (5・6年生) *予備日13日 (火)
- 10/16 (金) クラブ/第2回地域学校協働本部事業・第2回学校運営協議会
- 10/20 (火) 交通安全 (あいさつ運動)
- 10/22 (木) 教育委員来校
- 10/24 (土) 四万十市教育文化展 (しまんとぴあ) ~27日まで
- 10/25 (日) 市P連スポーツ大会
- 10/27 (火) スクールカウンセラー来校 *市特定検診 (体育館)
- 10/28 (水) 四万十市・三原村複式教育研究大会 (利岡小)
- 10/30 (木) 巡回スポーツ教室



読書の秋を楽しみたい！



—これからの未来を生きぬく子どもたちにぜひとも身につけてほしい力とは何か—

「SNS 使用時間と学力調査の関係性について利岡小ではどうですか?」と問われたりします。

私はナンセンスな質問だなと思うのです。なぜなら、1日の時間は限られており、SNSに費やす時間が長ければその分、学習に向かう時間、読書の時間、実体験から得る知恵を習得する時間が減るため学力は下がるに決まっていると考えからです。

また、タイムマネジメントできず、夜遅くまで SNS を使用していると睡眠時間が削られ、翌日の授業等に集中できないなど行動の意欲にも影響することも常識の範囲で考えれば分かることではないかと思うのです。

しかし、タイムマネジメント力を身につけ、SNS を上手く便利に使いこなすと生活（心）を豊かにもできます。今の時代、国内外の旅行などもスマホ一つあれば移動手段や宿を決めたりすることも異言語の人たちとコミュニケーションをとったりするのも本当に簡単なことです。AI が手元で危険な地域なども何でも教えてくれます。また、世界各国に住む人たちとも SNS ですぐ連絡を取り合えます。

本格的な AI（人工知能）時代に突入しています。この先も目覚ましく深化を続ける AI に追いつかれることなく上手に使いこなして生きていくためには、私は『国語力（言語力）』身につけることが肝要だと考えます。

学力（成績）の高い低いとは SNS 使用時間というよりは言うまでもなく読書量が大いに関係しています。読書習慣を身につけている子どもは読解力が身につけているのでどの教科の成績も良いです。NHK E テレ「にほんごであそぼ」総合指導を務める齋藤孝さんは「頭のよさは国語力で決まる」という本の中で以下のようなことを記しています。

『100 冊の名著を読むことは、100 人の偉大な知性を自分の味方につけるということです。本とは、筆者が一番大切な言葉で書き残してくれたものであり、読書という行為は情報を得る以上に、豊かな人間性をもった他者との出会いの場なのです。社会人になって本を読まなくなるといことは、優れた他者との出会いの機会が断たれていることを意味します。そうした人の頭は、言語化ができておらず、粗雑になりやすい。いわば、魂の成長が鈍っている状態に陥っています。・・・読書で優れた他者と出会い、言語能力を高めていくと感情も安定します。』と。

「国語力」と一言と言ってもその中には要約力や批判的に他者の文章を読み解く力、表現する力（書く・主張する・対話する）、聞き取る力・・・などさまざまです。

では、教師の役目は？子どもたちの読書をより豊かにするためには文章のどこに目をつけ、どう読み取っていくかなど国語を教える教師には重要な役割があります。各教科の中でも「国語」の読みの授業は特に大切です。ただ、教科書の単元を一通り読んで流すような授業ではいけません。

利岡小では国語の「読み」の授業研究を進めています。全国『読み』の授業研究会の代表である阿部昇先生の指導も受けながら。10月28日（水）は利岡小学校で複式授業研究大会があります。国語の授業を参観してもらったり、阿部先生にご講話をいただいたりします。これからの世の中がどうであろうと、子どもたちが豊かに生き抜いていくためには、確かな国語力（言語力）を身につけていかなければなりません。そのための授業実践を行えるよう授業力を高め合うための教員の研究会です。保護者、地域のみなさまも、当日（10/28・水）14時から14時45分まで国語の公開授業を行いますので、ぜひご参観ください。



利岡小の子どもたちは、毎日、全員がしっかりと授業に向き合い学んでおり感心しています。そうあれのは、各家庭が学ぶための基盤を築いてくれているからです。

最近、日の暮れも早くなり、涼しくもなり秋を感じます。この秋はぜひ、親も子もそれぞれに夢中になれる本と出会えるといいですね！それをきっかけに読書の味をしめられるとそれは、子どもの先々の幸せにつながることです。親は子がいくつになっても幸せに生きてくれることが一番の願いですものね！子が幸せに生きられる可能性のあることなら一つでも多く身につけさせてあげたいですね！

